

< 目 次 >

- | | | |
|-------------------------|--------|--------|
| 1. 平成25年度 西尾張ブロック代表挨拶 | 江南支部 | 尾関 博 |
| 2. 新年度に向けてご挨拶 | 本部 | 早川 澄男 |
| 3. ランの館での防災啓発活動に参加して | 本部広報部長 | 藤井 芳弘 |
| 4. 一宮リバーサイドフェスティバルに参加して | 一宮支部 | 石垣 辰夫 |
| 5. コラム第2話 防災リーダーの役 | 東郷町 | 加藤 千恵子 |
| 6. 「気持ちを手紙に」から | 稲沢支部 | 川村 荘一郎 |
| 7. 中部ライフガードTEC2013 | 一宮支部 | 石垣 辰夫 |
| 8. 連区練に参加して | 一宮支部 | 伊藤 善之 |
| 9. お知らせ 掲示板 | | |

1. 平成25年度 西尾張ブロック代表 挨拶

江南支部 尾関 博

西尾張ブロックの代表を仰せつかった尾関 博です。
歴代3人の代表が築きあげた功績を無駄にしないよう、
会員のご支援・ご協力を頂きながら努めてまいります。何
分初めてのことであり、何かとご迷惑もおかけすると、思
いますがよろしくお願い致します。



さて、南海トラフで起きる大地震で、政府の地震調査委
員会は5月24日に東海・東南海・南海地震を個別に評価
する従来の手法を見直し、一元的に推計する方針を決定、南海トラフのどこかでマグニチュード
8以上の地震が今後30年以内におきる確率は60～70%とし、駿河湾から九州東部沖にかけ
て伸びる南海トラフ全体3つの震源域に分け、過去の発生周期から個別に確率を予測しており、
今年1月時点は、東海88%・東南海70～80%・南海60%と評価していた。

従来の評価と新しい評価を見比べると、東海・東南海地震では今後30年以内に発生する確率
が下がったように見えるが、確率が高い、低いと一喜一憂する問題ではなく、来るべく「南海ト
ラフ巨大地震」に対して対策を急ぐ必要があり、国や自治体の対応には限界があるとして、住宅
耐震化、家具転倒防止、防火、津波避難、食料備蓄等々の防災啓発を進めることが課題です。

今年は県・市町村の地域防災計画の見直しがされる予定であり、一人一人が新しい防災計画を
もとの、『自分の家族は、自分が守る』『自分の地域は、自分たちが守る。』このような活動をしな
ければと思います。

あいち防災リーダー会西尾張ブロック及び各支部会員の皆様のご助言、ご協力をお願いいたし
ます。

2. 新年度に向けてご挨拶

会長 早川 澄男

初代太田貴代子会長(1期～5期)から引き継ぎ、2代目として6期～10期の5年間で、後任へ引き継ぐ計画でございましたが、急遽昨年末後任候補者が海外赴任となり新会長への引き継ぎを断念しました。規則を改定して、もう1年続投することを改めて決意しました。第11期の会長として、次に繋げる新しい運営体制や活動を起案して進めさせていただきます。



南海トラフの巨大地震被害想定があまりにも大きく、もうあきらめかけた住民も多くいます。しかしこのあきらめかけた方々へも減災すれば、この被害は激減できることを具体的に示しつつ、防災・減災の輪をひろげてゆきたい。

1) 企画・運営の新体制づくり

1人の会長に負荷が大きくなるよう各ブロックに輪番制でその役の一端を担っていただきます。具体的に言えば、役員会の準備対応、司会や議事録も該当ブロック対応で進行します。これらを通してどのブロックでも指揮できるようにレベルアップしてゆきたい。研修・講習による相互勉強会、レベルアップを図るため該当ブロックのニーズに合った講習会にシフトしたいと考え、役員会開催の午前中に該当ブロックに企画・運営を一任してゆきたい。もちろん本部原田研修部長の意思に沿って。

2) 愛知県防災局との連携強化と防災・減災啓発の向上を

昨年は、防災担当大臣表彰を受け、愛知県の地域防災力向上のための防災・減災活動が評価されました。この期に今一度原点に立ち返り、防災・減災活動に邁進してまいります。防災局は無論、河川課、国土交通省、庄内川河川事務所、名古屋气象台等の災啓発情報を入手して地域防災力向上のため、防災啓発教材や道具の開発を進めます。

そのため、渉外部長を選任して情報の迅速化と円滑化を図りたく、鳥山一三さんにその任をお願いいたしました。

具体的には、防災啓発行事、講演及び講習、学校防災啓発行事や講演など防災局の情報や支援と連携なる活動にしてゆきます。防災なますんの着ぐるみの着用防災啓発展開を進めることもその1つの行動と考えています。また学校防災教育(P T A & 生徒)も積極的に引き受けてゆきたいと考えております。1月5日の中日新聞(子ども防災)で述べさせていただいたことを1つでも具現化してゆきたい。

3) APLAホームページの開設

APLA結成当時は、有りましたが、オリジナルなシステムでなく、途中継続ができなくなり、今日まで至っておりますので、若い人たちの知恵を結集して開設に取り組みます。是非、ご協力いただける方は、本部丸山事務局長へ申し出ください。

4) 10年誌の発刊を

平成15年4月1日発足して、ちょうど10年が過ぎましたので、10年の振り返りと今後の5年(APLA15)のプランニングをしてゆきます。忌憚のない意見要望を早川までお寄せください。まずは、10年誌の企画立案を広報部にお問い合わせいたしましたので、その企画に沿って、会員からのご寄稿のご協力を期待しております。



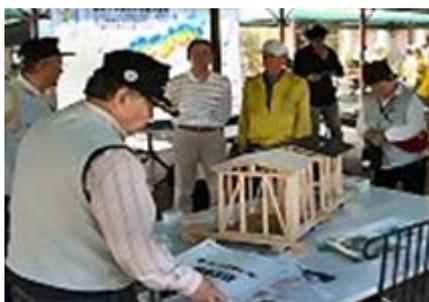
APLA 新役員

3. ランの館での防災啓発活動に参加して

本部広報部長 藤井 芳宏

5月5日 10:30 から早川会長を始め、名古屋ブロックのメンバーと筆者 11 名が参加し、素晴らしい天候、素晴らしい環境に恵まれた中（色とりどりの花に囲まれたガーデン）で活動した。開園前のミーティングでは早川会長より「ランの館に来館される御客様は花が好きの方が多いのでいつもの雰囲気とはちょっと違うかも知れませんが楽しんで啓発して下さい」・・・♪花を愛する人は心優しき人♪♪♪・・・こんな歌を思い出した。

啓発内容は、耐震化啓発（卓上ぶるる）・防災塗り絵・エコ防災グッズ（紙スリッパ、ゴミ袋活用法）・防災パネル展示やカタログ・パンフレットで防災啓発・非常持ち出し品ゲーム、防災ナマズンによる子供たちとスキンシップなど でした。美しい花々、素敵なガーデン、こんな環境の中で来館者の方々と啓発活動を通じて楽しく接する事が出来、感謝の一日でした。



卓上ぶるる



なますん

4. 一宮リバーサイドフェスティバルに参加して

一宮支部 石垣辰夫

2013一宮リバーサイドフェスティバルは、平成25年5月3日～5日の3日間、会場国営木曾三川公園138タワーパークにおいて、今年のテーマ「身近な緑をふやそう」生活に潤いを与え、緑の普及啓発を推進するため、フラワーアート・ミニガーデン等を展示し開催されました。

一宮防災ボランティアネットワーク・あいち防災リーダー会一宮支部の共催ブース（水辺広場）防災体験・相談コーナー開設、5月3日午前9時集合、リーダー会員13名・江南支部2名・犬



ぬりえコーナー



防災相談コーナー

山支部2名＝18名参加、打合せ会実施により役割分担を決める。消防本部へ3名応援・なます号地震体験車へ2名応援・家具転倒防止とパネルとグッズ説明役・ぬりえ受付・ぬりえ担当・防災クイズ担当・ラミネート担当・クイズ採点役が夫々配置に着くと同時にぬりえコーナーが満席になる盛況で、受付をセーブしながら対応しました。

5月4日と5日も同様の方法で、朝礼と夕礼を実施して万全を図りました。

【一宮市・青空ブース】

- 1 一宮市消防本部、高所作業車の体験・ちびっ子放水体験・スモークハウス体験
- 2 一宮市危機管理室、愛知県なます号による地震体験車（震度7）

【防災体験・相談コーナー】

- 3 ぬりえコーナー、なますん絵がぬり終わったらラミネート加工により下敷きとして提供
こどもはぬりえ、保護者大人は防災クイズ、このパターンで対応した。
- 4 家具転倒防止等の説明役、パネル・グッズ展示、家具転倒防止チラシ配付や相談
- 5 ラミネート担当、2台で対応したが、行列が絶え間なかった。粗品を渡す。
- 6 防災クイズ担当、（大人用・子供用）点数を付けて粗品を渡す。
- 7 テレビ放映、東日本大震災津波襲来・リーダー会員の活動状況・地域活動状況等

今年は3日間とも絶好の好天に恵まれ、当ブースは初日600名程の多くの方の入場がありました。3カ日とも盛況で多忙な活動でしたが、無事終了する事ができました。

参加会員3日18名、4日16名、5日12名＝延べ46名、江南支部・犬山支部から応援参加を頂き、改めて厚くお礼申し上げます。（本事業は、西尾張ブロック支援事業）

5. コラム 第2話 防災リーダーの役 東郷町 加藤 千恵子

日本では3月ともなると 新年度に向けていろいろな団体や組織の役割や担当が決まります。私も小学校から大学まではクラス委員やクラブ活動、家庭に入り子どもが生まれるとPTA委員、地域では婦人会、自治会などあらゆる役割を一度も断らずに引き受けてきました。いつも引き受けるので私は“役”が好きな人だと陰口をたたかれたこともあります。

“役”はどれも立候補したのではなく、選ばれたり頼まれたりして引き受けたものばかりですから、果たして私が“役”が好きと言えるのでしょうか？

陰口をたたく人間は、なぜ私がそうしてきたかを考えるべきで、成果 結果を見る必要があるのではないのでしょうか？始めに”役“ありきではありません。

私は役割を果たす時には、必ずその組織の目的や意義を考えます。たとえば学校のPTA活動では、学校の教職員と私たち保護者が一体となって子どもたちの学校生活を安全に送らせること

に焦点を当てますし、自治会ではコミュニティー全体の友和や安全安心な生活のための活動や催しを優先します。

楽しく活動していると必ず不平 不満を言う人がいます。自分たちは何もしないのに批判だけする人がいます。うるさい姑や小姑のような人がいます。このような人は一般的には嫌われ避けられる人ですが、以下のように考えることでその残念な気持ちを何とか克服しています。

活動に不満がある人は少なくともそのことに無関心ではない人で、うまく話をすれば賛成してくれたり協力してくれる“伸び代”がある人と位置付けることが大事。

一番面倒な人とは、“役”は引き受けたいけれど責任感や実行力のない人、謙虚でない人、嫉妬深い人、反論するときには代案を持たない人などです。

あいち防災リーダーの人たちを見ていると、残念ながらこのような面倒な人もたくさんいます。平成 14 年に初めて県の防災カレッジを受講した 250 名は 12 日間の学びをベースに 10 年間地域での防災リーダーとしての役割を認識して、防災 減災の普及に努めている人が多いと感じる一方で、受講者が増えるのに比例して、リーダーの名前だけが欲しい人、資料をかき集めたまま一向に活かす努力をしない人が増加していることも感じる場面が多い昨今です。

防災リーダーの育成に深く関わっている者の一人として、これから世代交代を果たしたいし、迷惑な存在の防災リーダーではなく頼られるリーダーの誕生を願わずにはいられません。これまでの肩書に一切関係なく、驕ることなく、でも経験は活かせる防災リーダーを待っています。

春 木々に新芽が出てきました。新芽のように柔らかい心を持った防災リーダーがたくさん誕生して、それぞれの地域にみずみずしい青葉を茂らせてくれることを願いながら防災おばさんは今日も“役目”を果たしに出かけます。

6. 「気持ちを手紙に」から

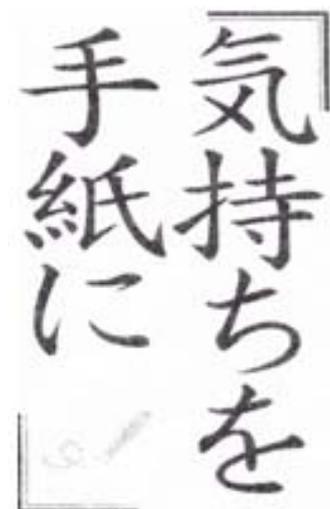
稲沢支部 川村 莊一郎

ここに紹介したのは、小冊子「気持ちを手紙に！」（愛知県被災者支援センター発行）中の小学 1 年生の手紙です。1 年生ながら、鋭い斬りこみと表現で迫ってくるものがあり、心を揺すぶられた。

私達大人はボヤボヤしてはいてはいかんのだと・・・

この小冊子は、愛知県被災者支援センターが、県内に避難している方々の手紙集という形で平成 24 年に発行したものである。全部で 26 編の手紙が掲載され、読むたびに被害の深刻さや避難生活の大変さがひしひしと伝わってくる内容であり、ボランティアコーディネーターとしての APLA の諸兄にも是非とも今一度手にとって、ページをめくっていただくことをお勧めします。

1. この先何年放浪の旅に身をおくのでしょうか。自分の土地に根を下ろせない悔しさ、自分の田園、畑から作物を収穫できない悲しさ（ST 夫婦）
2. 生きて、歩いて、戻りたい（ST）さん



3. 福島の高校生が「私達は結婚できるのか、子供を産んで大丈夫なのか」と本気で心配しています。[KTさん)

くにのえらいひとへ

福島県 NMさんの手紙

小学1年生で原発事故で愛知県避難してきた子の声を書きます。愛知県でお友達もたくさん出来たけれど、福島のお友達に会いたい。原発事故で避難しているので、一生懸命練習した卒園式に出られなかった事。放射能のこと、健康のこと、ママのお仕事のことなどいろいろ考えて暮らしています。すごく寂しくつらいけど私は頑張っています。

私はフラガールになりたいです。いつまでも健康で夢にむかって頑張れるよう放射能をなくして下さい。早く福島のお友達あうことができるようにしてください。わたしたちもがんばっているのだから、国の偉い人たちも、もっと頑張ってください。お願いいたします。

7. 中部ライフガード TEC2013 防災・減災・危機管理展見学 一宮支部 石垣辰夫

会期：平成25年（2013年）5月24日（金）～25日（土）

会場：ポートメッセなごや（名古屋市国際展示場）2号館・屋外

主催：名古屋国際見本市委員会（構成：名古屋市・愛知県・名古屋商工会議所等）

南海トラフ巨大地震に備え、防災・減災・事業継続計画（BCP）をテーマとして、中部地区で初めて開催された。

5月25日午前10時会場に到着、受付をすませ名札を受取り2号館の展示会場に入り、20分程各ブースを回り講演会場へ移動した。

（1）講演会場：交流センター3F会議ホール（聴講整理券は5/17FAXで取得済）

基調講演：「過去の震災に学ぶ南海トラフ巨大地震対策」時間：10：30～12：00

講師：福和伸夫氏（名古屋大学減災連携センター長教授）

貞観地震から安政東海地震・安政江戸地震と南海地震の津波を伝える稲むらの火は、戦前全国の小学校で教えていたが、現在は殆どの小学校が教えていない。明治三陸地震（死者22,000人）等の歴史を学んだ。名古屋駅西側の濃尾平野は災害に弱い地盤である。東海地方の南海トラフに



基調講演 名古屋大学教授 福和伸夫氏



会場 ポートメッセなごや2号館



愛知県防災局 あいち防災リーダー会ブース



耐震化相談室 家具転倒防止 ぬりえコーナー

いかに対応するか解説があった。会場は満席（300名）の大盛況でした。

昼食後、展示会場に戻り、愛知県防災局来場者を迎えてくれた。当ブースでは、耐震化相談室、家具転倒防止器具の取付け実演・防災学習システム・防災ぬりえコーナー等を展開されていた。

(2) 講演会場：2号館内セミナー会場へ移動

演題：都市水害を受けて立つ社会基盤のデザイン 時間：13:15～14:15

講師：秀島栄三氏（名古屋工業大学高度防災工学センター教授）

講演終了後、展示会場の各ブースを回り会場内の出展者ワークショップ会場へ移動した。

(3) 出展者ワークショップ 主催：愛知県防災局・あいち防災リーダー会

タイトル：耐震化とお金をかけずにできる家具固定法&エコ防災グッズ

講師：あいち防災リーダー会会長 早川澄男氏 時間：14:30～15:30

講師の軽快な楽しい話術による家の耐震化、卓上ぶるるによる耐震化啓発、お金をかけずにできる家具固定法、固定金具を使った家具固定法、身近なもの（ゴミ袋・ペットボトル・ネクタイなど）を使った防災グッズや応急手当法の実演を分かり易く解説されました。会場は満席になり立見席がでる程の大盛況でした。早川会長、スタッフの皆さんの熱演ご苦労さまでした。

本展示会は、出展規模195社・団体、ブース341・講演会13・ワークショップ18・起震車による地震体験など膨大な防災展の為、目的のブースと講演会を選んで見て回り、減災活動の知識を学ぶことができ有意義な見学となりました。同展は2014年も計画されているので、来年も訪れたいと思っています。



出展者ワークショップ あいち防災リーダー会



展示会場内の各ブース

8.連区防災訓練ならびに市民と企業の協働フェスタ in 一宮に参加 一宮支部 伊藤 善之

1) 富士連区・貴船連区・大雄会病院合同防災訓練

5月18日(土)晴天の下、一宮市羽衣1丁目天道公園において、富士連区・貴船連区・大雄会病院合同の防災訓練が、約150名参加して実施された。当初は大雄会病院と隣の10町程の中規模の防災訓練だったが、昨年より富士連区・貴船連区が参加し大規模の防災訓練になった。

大雄会病院による災害医療の説明の後、止血法や骨折手当などの応急手当、煙道訓練・消火訓練などが順次実施された。当会は、初参加で8名が出て家具転倒防止のモデルや写真展示ならびに簡易トイレの展示・説明を行い、参加者全員に家具転倒防止支援のチラシを配布した。



家具転倒防止・簡易トイレ展示

2) 市民と企業の協働フェスタ in 一宮

5月26日(日)一宮駅iビルにおいて、企業とNPO法人並びにボランティア団体と一宮ロータリークラブによる市民参加のフェスティバルが開催された。当会も一宮防災ボランティアネットワークの一員として参加した。太鼓やオカリナ演奏、NPO法人パートナーシップ・サポートセンター代表理事岸田様の講演、企業とNPO法人の協働事業事例発表などが実施される中、家具転倒防止のモデルや写真展示などの防災啓発を行った。



骨折対応応急手当訓練



家具転倒防止展示



岸田様の講演

9. お知らせ 掲示板

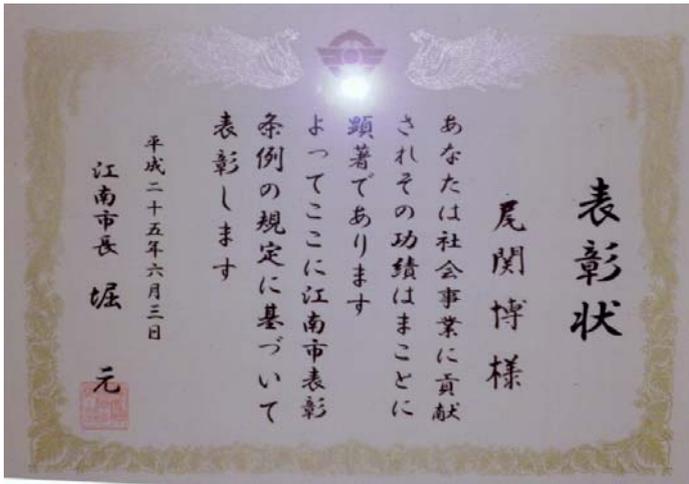
お知らせ

尾関代表が江南市より地域防災活動貢献で表彰を受けられました。受章の功績を讃えますと共に、尾関代表ご自身による受章のお言葉を紹介させていただきます。

江南市から表彰される

江南支部 尾関 博

6月3日に江南市役所2階大会議室において、江南市制59周年記念式が行われ、あいち防災リーダー会こうなんの望月 晴夫 代表と私 尾関 博 副代表の2名が表彰されました。表彰全体は、地方自治、教育事業、社会事業、民政安定、保険・衛生、消防の6事業で個人29名の表彰でした。



あいち防災リーダー会こうなんの2名は社会事業で長年役員として、地域防災活動に貢献したとして、江南市の表彰条例の規定に基づいて表彰されました。

あいち防災リーダー会こうなんは現在会員14名の小さな団体ではあるが、江南市の行政と協力しながらこうなん市民まつり、総合防災訓練、合同自主防災訓練等に参加、江南市防災会議のメンバーとして、活動しています。

今後はより一層、行政、会員共々協力しな

がら市民に、防災減災活動を行っていきます。

掲 示 板

※ 西尾張ブロック 25年度 第2回幹事会のご案内 -----

- ・日 時：8月18日(土) 午後1時30分～
- ・場 所：清須市新川ふれあい防災センター(清須市中川原2丁目)

※ APLA 第2回講習会「春日井方式 HUG」開催のご案内 -----

- ・日 時：8月10日(土) 午前10時～12時
- ・会 場：レディアンかすがい(春日井市鳥居松町 2-247)
- ・受 講 料：300円(教材費)
- ・申込方法：東尾張ブロック青木代表にお問合せください
(TEL：090-8679-6720 e-mail：ytk-aoki@ky.biglobe.ne.jp)

受講申込締め切り 6月30日(日)

※ あいち防災リーダー養成塾 開講のご案内 -----

- ・開催期間：9月14日(名古屋大学環境総合館) 10月12日(名古屋工業大学 講堂)
11月2日(岡崎市福祉会館) 11月24日(岡崎市福祉会館)
- ・開講時間：午前10時～午後4時30分(受付 午前9時30分より)
- ・受 講 料：1500円
- ・受講対象：新規に防災リーダー研修を受けられたい方が対象
皆様の友人・知人で受講を希望されたい方が見えたらお勧めください
- ・主 催：特定非営利法人 あいち防災リーダー育成支援ネット
- ・申 込 先：以下にお問合せください

受講申込締め切り日 8月31日(日)

岡崎：太田塾長	TEL&FAX:0564-55-2030	メールアドレス:kouen@gol.com
一宮：伊藤塾長	TEL&FAX:0586-69-6138	メールアドレス:yosiyuit06@kba.biglobe.ne.jp
名古屋：早川塾長	TEL&FAX:052-652-4102	メールアドレス:octopus9090sumio@yahoo.co.jp

※ あいち防災協働社会推進協議会主催「防災・減災カレッジ」開講のご案内 -----

- ・開講期間：7月28日～8月25日
- ・概 要：全5コースと選択講座があり、希望するコースと必要に応じて選択講座(別料金)を受講

- することができるほか、防災基礎研修のみを受講することができます
- ・会場：名古屋大学/西三河県民事務所/名古屋栄ビルディング/名古屋商工会議所
 - ・受講料：各コース 3000 円(防災基礎研修+各コース 2 日間) 防災基礎講座 1000 円
 - ・申込方法：パンフレットを <http://www.pref.aichi.jp/0000003405.html> よりダウンロードするかレスキューストックヤード(TEL：052-253-7550)にお問合せください(受講申込 7 月 1 日まで)
 - ・その他：コースには「地域防災コース」「地域 Vco コース」がありますが、既に防災リーダー研修や防災ボランティアコーディネータ(Vco)を受講し資格者証受けられた方は受講を要しません
- 皆様の友人・知人で受講を希望されたい方が見えましたらお勧めください

編集後記

愛知県の東海地震・東南海地震・南海地震の新しい地震等被害予測調査が公表されております。ご自身の住居区域の被害予測をなるべく早く確認され備えられることをお勧めします。また、被災時の備蓄食料と飲料水は、今まで 3 日分を確保するよう云われておりましたが、2011 年 3 月 11 日の東北地方太平洋沖地震の経験から一週間分を確保するよう求められております。今一度、自宅の被災時の備えの見直しされるようお願い致します。

さて、5 月末に入梅宣言はあったものの、梅雨らしい雨は一向に降りそうにありませんがこのような中で心配されるのは、梅雨の末期になって、今まで降らなかった分を一時に集中して降らすような梅雨末期特有の症状です。このような集中豪雨は災害のもと、ごめん被りたいものです。一方で、少雨で日照りが続けば家庭菜園はもちろんのこと、農作物の収穫に影響が出ます。

天気予報の精度はよくなったと云われますが、意に反して自然の営みは身勝手に、生活に大きな影響をおよぼします。加えて円高傾向にあるこの頃、電気代やらガス代やら、輸入物の食材やら値上がりのお話は尽きず、何やらうっとうしい話題が多いのは、梅雨のせいだけではないようですね。

これから夏の暑さはいやでも増します。会員の皆様、御身お大事にお願ひいただき、雨やら台風やらの備えをなさってみてはいかがでしょうか。

